

前事業年度の事業報告書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

特定非営利活動法人

島根ベースボールイノベーション

【理事会（開催年月日 令和3年9月29日）】

- ・開催場所：リモート（Google meet）会議
- ・出席者数：8名（理事人数10名）
- ・議決事項の概要
 - 2022年度の事業計画・予算（案）の作成
 - 「軟野連」加盟の検討
 - 中3生対象の「野球力測定会」実施
 - 利用会員（S I S ACADEMY）の運営方針、規約の見直し
 - 「育成トレーニング診断」の充実強化

【総会（開催年月日 令和3年11月27日）】

- ・開催場所：リモート（Google meet）会議
- ・出席者数：12名（内表決委任者3名）／正会員数 15名
- ・議決事項の概要
 - 「2022年度の事業計画、予算」
 - 「軟野連への加盟」
 - 「第8期しまね中学生野球力向上事業（野球力測定等）」
 - 「S I S ACADEMY」

1 事業の成果

(1) 自主事業（S I S ACADEMY）

①育成トレーニングスクール開催：毎月第1・第3日曜日の午前中、野球場等を使用して、小中学生約100名を対象とした「育生トレーニングスクール」を開催。

育成トレーニング診断の実施サイクル

【実施イメージ】



※ 一般社団法人日本スポーツエンターテイメント社（J S E A）のアプリ「スマホ d e コーチ」を活用した「育生トレーニング診断」を実施し、参加者の基礎体力・運動能力向上を図った。

②U15ベースボールクラブの運営：毎月日曜日、小中学生90人に対し「野球のゲーム性」を楽しみながら“共に学び全ての人が成長できる野球を

する”事（スポーツを通じて生きる力を高める）を指導した。

(2) 自主事業（野球チームコンサルティング）

高校野球チームの現場に赴き、走塁・守備・打撃練習等を中心に指導を実施した。

(3) 受託事業（高校野球解説（NHK））

夏季及び秋季の島根県高校野球大会時、NHK松江放送局から依頼され理事長が解説者として出演した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施事業の 日時、場所 従事者の人数	受益対象者の範囲 及び人数、評価	事業費 の金額 (単位：円)
・スポーツイベント主催 ・競技者、指導者、審判員及びボランティア育成 (しまね小中学生野球力向上プロジェクト)	【自主事業】 「S I S ACADEMY」	育成トレーニング スクール 毎月第1・第3日曜 県内野球場 従事者：50名(延べ)	・県内の小中学生 約100人 ・「スマホ de コーチ」(社団法人日本スポーツエンターテイメント)を利用したフィジカルトレーニング	265,000
		BASEBALL クラブ 毎月日曜日 県内野球場 従事者：80名(延べ)	・県内の小中学生90名 ・毎月日曜日、小中学生90人に対し「野球のゲーム性」を楽しみながら“共に学び全ての人々が成長できる野球をする”事(スポーツを通じて生きる力を高める)を指導した。	1,000,201
	【自主事業】 野球チーム コンサルティング	・R3.6 ・鳥取県立境高校 ・従事者数：2名	・境高校野球部員20名 ・「野球のゲーム性」理解と主に走塁、打撃技術について指導実施	12,104
	【受託事業】 高校野球 解説(NHK)	・R3.7～R3.11 ・浜山県営野球場 松江市営球場 ・従事者数 4名(延べ)	・県内高校野球ファン ・高校野球「春季、夏季、秋季大会」の解説を当法人理事長が実施したことにより、島根県の野球(特に高校野球)が全国区になる現実味を感じさせた。	6,051

(2) その他の事業

実施しなかった。

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。